

精神保健福祉センター一報

令和3年度

奈良県精神保健福祉センター

目 次

1	職 員	2
2	精神保健福祉相談	2
3	教 育 研 修	3
4	普 及 啓 発	4
5	自 殺 対 策	5
6	依 存 症 対 策	8
7	災 害 対 策	9
8	近畿ブロック精神保健福祉センター長会	10
9	精神医療審査会事務	11
10	技 術 支 援	12
11	精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院）の判定	12

1 職 員

令和4年3月31日現在

職 種 区 分	医 師	事 務	精神保 健福祉 相談員	心 理 判定員	電 話 相談員	保健師	合 計
職 員	2 [内兼務1]	6 (4)	3	1	1 (1)	2 (1)	15 (5)

* () は会計年度任用職員

2 精神保健福祉相談

精神保健福祉センターでは、電話や面接による精神保健福祉及び精神障害者福祉に関する相談及び支援を実施しています。

令和3年度における精神保健福祉相談実績延べ件数は、表1から表7のとおりです。

表1 相談内訳

	件数	%
所内相談	81	29.9
電話相談	189	69.7
訪問指導	1	0.4
計	271	100.0

表2 利用状況

	件数	%
新規	135	49.8
継続	136	50.2
計	271	100.0

表3 相談者

	件数	%
本人	130	48.1
家族	121	44.6
本人家族	5	1.8
その他	15	5.5
計	271	100.0

表4 相談経路

	件数	%
医療機関	6	2.2
保健所	3	1.1
市町村	28	10.3
関係機関	63	23.2
センターホームページ	14	5.2
広報	0	0
一般情報	130	48.0
その他不明	27	10.0
計	271	100.0

表5 年齢別・性別

性別 年齢	男		女	
	件数	%	件数	%
10歳未満	1	0.5	1	1.7
10～19歳	12	5.7	3	5.0
20～29歳	46	21.8	12	20.0
30～39歳	28	13.3	14	23.3
40～49歳	68	32.2	10	16.7
50～59歳	34	16.1	10	16.7
60～69歳	10	4.7	2	3.3
70歳以上	4	1.9	7	11.6
不明	8	3.8	1	1.7
計	211	100.0	60	100.0

表6 相談内容

	件数	%
精神疾患に関すること	39	14.4
老人精神保健に関すること	8	3.0
社会復帰に関すること	0	0
アルコール依存に関すること	5	1.8
薬物依存に関すること	55	20.4
ギャンブル依存に関すること	110	40.6
ネット・ゲーム依存	10	3.7
思春期に関すること	6	2.2
心の健康づくりに関すること	5	1.8
うつ・うつ状態に関すること	6	2.2
摂食障害に関すること	4	1.5
てんかんに関すること	2	0.7
その他	21	0.7
計	271	100.0

表7 対応内容

	件数	%
傾聴・助言	171	63.2
情報提供	21	7.7
他機関紹介	2	0.7
センター来所予約	77	28.4
計	271	100.0

3 教育研修

県内関係諸機関の精神保健福祉業務に従事する各職種に対して、精神保健福祉に関する専門的知識と技術向上を図るため、研修会及び連絡会議等を開催しています。

研修名	内容	講師	参加者数	実施日
精神障がいを理解するための研修会	① 私のトウシツ（統合失調症）体験記 ② 地域で生活する精神障害者の障害特性と具体的な支援	① 富永 真弘 氏 ② 訪問看護ステーションみのり統括所長 小瀬古 伸幸 氏	22名	令和3年 5月27日
アルコール関連問題対策研修会	アルコール関連問題を抱える人やそのご家族の生きづらさを理解して具体的に支援する	ハートランドしぎさん 臨床教育研修センター長 徹二 氏	28名	令和3年 7月1日
メンタルヘルス研修会	産褥期精神障がいについて	奈良県立医科大学附属病院精神科 後藤 晴栄 氏	29名	令和3年 8月31日
依存症対策研修会	依存症への理解を深める	ハートランドしぎさん 臨床教育研修センター長 徹二 氏	41名	令和3年 10月7日
自殺予防対策研修会	若者の自殺予防	立命館大学総合心理学部 教授 川野 健治 氏	30名	令和3年 11月12日
災害時精神保健医療従事者研修会	PFA（サイコロジカル・ファーストエイド）を学ぼう	ほくとクリニック病院 診療部 緑川 大介 氏	18名	令和3年 12月1日
自殺対策人材育成研修会	① 自殺予防と対策 ② セルフケアの大切さを学ぼう みんなどうしてる？自殺対策	① 奈良県立医科大学精神医学講座 助教 小森 崇史 氏 ② 精神保健福祉センター 職員	15名	令和3年 11月12日

自殺未遂者支援研修会	「死にたい」と言われたら	ハートランドしぎさん 院長 徳山 明広 氏	44名	令和4年 2月10日
------------	--------------	--------------------------	-----	---------------

4 普及・啓発

県内関係諸機関において精神保健福祉に関する知識等を啓発しています。

ゲートキーパーパネル展示

広く県民にゲートキーパーや自殺対策についての理解を深めてもらうことを目的とし、以下のとおり、ゲートキーパーパネル展示等を行いました。

実施日	令和3年9月13日～28日、 令和4年3月14日～31日
会場	県政情報サロン（奈良県産業会館）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ゲートキーパーに関するパネルの掲示（6枚） 普及啓発グッズ（クリアファイル、ならこころのホットライン啓発カード、リーフレット）の配布

実施日	令和3年9月7日～12日
会場	奈良県図書情報館
内容	<ul style="list-style-type: none"> ゲートキーパーに関するパネルの掲示（10枚） 普及啓発グッズ（ティッシュ、A4ファイル、ならこころのホットライン啓発カード、リーフレット）の配布

その他	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年3月の「自殺対策強化月間」において、普及啓発イベントを実施する市町村に対して、「ならこころのホットライン」の啓発ティッシュ、又はマスクを配布した。 7市町村（ティッシュ750個、マスク400枚配布）
-----	---

5 自殺対策事業

奈良県では、平成29年度に誰も自殺に追い込まれることのない「健康な心で暮らしやすい奈良県」を実現するために「奈良県自殺対策計画」を策定しました。本計画に基づき、平成30年4月に「奈良県自殺対策支援センター」を設置し、行政や関係機関、民間団体などが連携を図りつつ、保健、医療、福祉、教育、労働、法律等に関わる総合的な取り組みを実践し、地域の実情に応じたきめ細やかで効果的な対策を実施していきます。

(1) 相談事業

① 電話相談「なら こころのホットライン」（開設時間：平日9:00～16:00）

平成22年1月より専用回線「なら 自死遺族・こころのホットライン」を設置し、自死遺族のためのこころの相談を開始しました。平成22年4月からは自殺予防として「死にたい」と思うほどのつらい気持ちを抱えた方にも対象を拡げて電話相談を実施しています。

	自死遺族	自殺予防	合計
相談延べ件数	27	1,354	1,381

② 面接相談

面接による、自殺予防相談、自死遺族相談を実施しています。

	自死遺族	自殺予防	合計
相談者数	3	2	5
相談延べ件数	15	2	17

③ 自死遺族への支援

自死遺族の方からの電話では、自助グループや当センターでの自死遺族支援に関する情報提供を求めて、電話をかけてこられる方がたくさんおられます。当センターでは、自死遺族の方に対する面接を行っています。また、奇数月第2月曜日に、「奈良いのちの電話」が行う自死遺族支援「よりそいの会あかり」の“グリーフスペースさくらい”を、自死のご遺族同士が語り合う場として提供しています。

※自死遺族支援“よりそいの会あかり”についてはhttp://www.nara-inochi.jp/ml_6_1.htmlを参照下さい。

④ ハローワークでほっとコーナー

ハローワーク2か所で、週1回弁護士を派遣し、こころの相談を実施しています。

	実施時期	相談者数
ハローワーク奈良	金曜日 13:00～16:30	98
ハローワーク大和高田	水曜日 13:00～16:30	95

(2) ゲートキーパー養成講座

① 市町村別ゲートキーパー養成講座開催状況

自殺予防について正しい知識を持ち、身近な人のこころの変調に「気づき」、話しを「聴き」、必要な支援に「つながり」、そして地域で「見守る」役割を担うゲートキーパーを養成し、地域における自殺対策を強化することを目的に、市町村が主体となり実施しています。

表8

市町村名	R元年度				R2年度				R3年度			
	職員		その他		職員		その他		職員		その他	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
奈良市	1	154	6	184								
大和高田市												
大和郡山市	2	29	1	19	1	20			1	19		
天理市	1	28					1	21			1	19
橿原市	1	11					2	34				
桜井市									1	55		
五條市			2	90	1	33						
御所市			1	58			1	39				
生駒市	1	20	2	160			2	143				
香芝市			3	224								
葛城市												
宇陀市			2	132								
山添村												
平群町	1	45										
三郷町	1	144							4	87		
斑鳩町	1	28	1	45			1	21	1	12		
安堵町												
川西町			1	30			1	23				
三宅町							1	8			1	7
田原本町												
曾爾村												
御杖村	1	38										
高取町												
明日香村												
上牧町					1	77			1	28	1	33
王寺町									1	29		
広陵町	1	35										
河合町												
吉野町												
大淀町											1	20
下市町			1	10								
黒滝村												
天川村												
野迫川村												
十津川村												
下北山村	1	11	1	10								
上北山村												
川上村												
東吉野村	1	40										
合計	13	583	21	962	3	130	9	289	9	230	4	79

②関係機関・民間団体等主催のゲートキーパー養成講座開催状況

表9

関係機関名	R元年度		R2年度		R3年度	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
奈良県教育委員会	1	53	1	90	1	91
奈良県職員	2	263	3	434		
奈良県消防学校	1	69	1	56	1	57
白鳳短期大学	1	39	1	39	1	40
奈良県理容生活衛生同業組合	1	45				
奈良女子大学	1	80				
奈良森林管理事務所	1	27	1	52		
合 計	8	576	7	671	3	188

③ゲートキーパー指導者養成研修

平成24年8月に自殺総合対策大綱が見直され、地域での実践的な取り組みの必要性が掲げられ、各地域での人材育成や事業展開が求められたことを受け、平成25年度から、各地域でゲートキーパーを養成する「ゲートキーパー指導者の育成」を行っています。

ゲートキーパー指導者養成研修は、令和2年度に1回開催し合計21名が受講しました。

(3) 自殺未遂者支援

自殺のハイリスク者といわれる自殺未遂者への対策は、自殺を未然に予防するために重要な課題のひとつです。人材育成や関係機関との連携により、自殺未遂者への支援体制を構築することを目指し、研修を実施。

内 容	開 催 日	参加人数	対 象
自殺未遂者支援研修会（再掲） 講義「死にたい」と言われたら 講師 ハートランドしぎさん 院長 徳山 明広 氏	令和4年2月10日	44名	市町村、保健所、精神科病院、教育、警察署、消防署等職員

(4) 市町村支援

市町村が自殺対策に関する計画を策定し、地域の実情に応じたきめ細かな自殺対策を計画的に実施するために、必要な情報の収集・分析・提供を行い、市町村自殺対策計画の推進や進捗にかかる支援を行っています。また、市町村が主催する自殺対策に関連する会議に出席しました。（2回：奈良市、香芝市）

6 依存症対策事業

① 薬物依存症治療回復プログラム

平成 28 年度より薬物依存症者の回復を支援するため、全国で先行実施例のある『SMARPP』を活用した集団による回復プログラムを実施しています。令和 3 年度の日程及び参加者は以下のとおりです。

第1回	令和3年 4月14日	10月13日	なぜ薬物やアルコールをやめなきゃいけないの？
第2回	4月28日	10月27日	引き金と渴望
第3回	5月12日	11月10日	あなたのまわりにある引き金について
第4回	5月27日	11月24日	あなたのなかにある引き金について
第5回	6月9日	12月8日	これからの生活のスケジュールを立ててみよう
第6回	6月23日	12月22日	依存症ってどんな病気？
第7回	7月14日	令和4年 1月12日	回復の地図
第8回	7月28日	1月26日	再発を防ぐには
第9回	8月11日	2月9日	再発の正当化
第10回	8月25日	2月24日	回復のために—信頼と正直さ—
第11回	9月8日	3月9日	相手に「NO」を伝えるスキル
第12回	9月22日	3月23日	強くなるより賢くなろう
参加者数 (延べ)		64名	

① ギャンブル依存症（当事者）ミーティング

平成 30 年度より試行的に、ギャンブル依存症者に対して「SAT-G」を参考に集団による回復プログラムを実施しています。令和 3 年度の日程及び参加者は以下のとおりです。

当事者グループ

第1回	令和3年4月21日	ギャンブルの問題について
第2回	令和3年5月19日	ギャンブルの問題について
第3回	令和3年6月16日	ギャンブルの問題について
第4回	令和3年7月21日	引き金から再開にいたる道筋と対処
第5回	令和3年8月18日	引き金から再開にいたる道筋と対処
第6回	令和3年9月15日	再開を防ぐために
第7回	令和3年10月20日	ギャンブルを振り返る
第8回	令和3年11月17日	ギャンブルを振り返る
第9回	令和3年12月15日	ギャンブルを振り返る
第10回	令和4年1月19日	考え方のクセ
第11回	令和4年2月16日	日常を振り返る
参加者数（延べ）	45名	

② ギャンブル依存症（家族）ミーティング

平成31年度より、ギャンブル依存症者の家族に対して同じ悩みを持つ家族同士が意見交換できる場を開催しています。また、必要に応じて回復プログラムを実施しています。令和3年度の日程及び参加者は以下のとおりです。

家族グループ

第1回	令和3年4月20日	近況報告、嘘をつかれたときの対処
第2回	令和3年5月18日	近況報告
第3回	令和3年6月15日	近況報告
第4回	令和3年7月20日	近況報告、疑いたくなる気持ち
第5回	令和3年8月17日	近況報告、コミュニケーションの方法
第6回	令和3年9月14日	近況報告
第7回	令和3年10月19日	近況報告
第8回	令和3年11月16日	近況報告
第9回	令和3年12月14日	近況報告、心配しすぎる気持ち
第10回	令和4年1月18日	近況報告
第11回	令和4年2月15日	近況報告、意見交換
第12回	令和4年3月15日	近況報告
参加者数（延べ）	64名	

③ ギャンブル依存症者等を抱える家族を対象とした研修会

研修名	テーマ	講師	参加人数	実施日
ギャンブル依存症等対策研修会	「借金問題における適切な対応について」	松本・板野法律事務所 弁護士 板野 陽一 氏	13名	令和3年 9月26日

7 災害時対策事業

研修名	テーマ	講師	参加人数	実施日
災害時精神保健医療福祉従事者研修会（再掲）	「PFA（サイコロジカル・ファーストエイド）を学ぼう」	ほくとクリニック 診療部 緑川 大介 氏	18名	令和3年 12月1日

8 近畿ブロック精神保健福祉センター長会

近畿ブロック各府県・政令市の精神保健福祉センターが持ち回りで開催している。令和3年度は、当センターが担当した。

講演・話題提供	日 時	出席	開催場所
① 「新型コロナ感染症対策について」 中和保健所・精神保健福祉センター所長 山田全啓 ② 「精神科病院におけるコロナウイルスのクラスターへの対応について」 第二北山病院 院長 土田英人 氏 ③ 「新型コロナウイルス感染症の心のケアへの対応について」 兵庫県こころのケアセンター センター長 加藤 寛 氏	令和3年 9月3日	各府県政令市 等 11センター	橿原総合庁舎 (Web開催)

9 精神医療審査会の開催

精神医療審査会は、公平かつ専門的な見地から、医療保護入院者の入院届並びに措置入院者及び医療保護入院者の定期病状報告の審査と、精神科病院の入院者からの退院・処遇改善の請求の審査を行います。令和3年度の審査状況は、表12のとおりです。

表12 精神医療審査会審査状況

区 分	届出等の 件数	審 査 件 数	審 査 結 果						計	取 下 げ	退 院 等 審 査 要 件 の 消 失	審 査 中 (保 留)	未 審 査 (次年度審査)
			入 院 等 は 適	他 他 の 入 院 形 態 へ の 移 行 当	入 院 継 続 要 不	入 院 は 不 適 当	処 遇 は 不 適 当	は 適 当					
医療保護入院の届出 (法第33条第1項)	2,513	2,513	2,513	0	0			2,513			0	0	
定 期 の 病 状 報 告	措 置 入 院 者	5	5	5	0	0		5			0	0	
	医 療 保 護 入 院 者	874	874	874	0	0		874			0	0	
	任 意 入 院 者												
退 院 の 請 求	措 置 入 院 者	8	5	5	0	0		5	1	0	0	2	
	医 療 保 護 入 院 者	59	39	38	1	0		39	15	5	0	0	
	任 意 入 院 者	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	
処 遇 改 善 請 求	措 置 入 院 者	0	0	0			0	0	0	0	0	0	
	医 療 保 護 入 院 者	12	7	7			0	0	7	3	2	0	
	任 意 入 院 者	0	0	0			0	0	0	0	0	0	
合 計	3,471	3,443	3,442	1	0	0	0	3,443	19	7	0	2	

※審査結果の計=届出数の件数。審査件数については審査により「保留」となった場合も計上しているため、審査結果の計と同数になっていません

10 技術支援

① 講師派遣

関係機関からの依頼により、関係機関職員を対象とした研修会へ講師派遣を行いました。

研修名	主催者	テーマ 講師	実施日
三重県自殺対策関係者研修会	三重県こころの健康センター	「自殺対策の計画策定で目指していること～平成28年自殺対策基本法改正の頃を振り返って」 奈良県精神保健福祉センター 精神科医	令和4年 1月25日

- ① 対面支援 5件（市町村・関係機関）
（対象機関で処遇しているケースについて面接相談したもの）
- ② 電話コンサルテーション 56件（市町村・関係機関）
（対象機関の職員からの電話による相談）
- ③ メールコンサルテーション 50件（市町村・関係機関）
（対象機関の職員からのメールによる相談）
- ④ 個別コンサルテーション 1件（市町村）
（対象機関の職員が来所、又は当方から出向くことによる相談）

11 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院）の交付

精神障害者保健福祉手帳は、一定の精神障害にあることを認定して交付することにより、精神障害者の社会復帰、社会参加の促進を図ることを目的としている。また、自立支援医療（精神通院）は、治療のため、通院による精神医療を継続的に要する病状にある方に対して医療費の自己負担を軽減する制度。

令和3年6月末現在の精神障害者保健福祉手帳所持者数と、自立支援医療（精神通院）受給者数及びその詳細は、以下のとおりです。

表13 精神障害者保健福祉手帳所持者数 令和3年6月末現在

等級	1級	2級	3級	合計
精神障害者保健福祉手帳所持者数	1,943	8,429	3,672	14,044

表14 自立支援医療（精神通院）受給者数 令和3年6月末現在

保険種別	社会保険		国民健康保 険	後期高齢者医療	生活保護	合計
	本人	家族				
受給者数	3,657	4,368	8,939	1,587	3,140	21,691

表15 自立支援医療 ICDコードカテゴリ別受給者数 令和2年6月末現在

ICDカテゴリー	コード	給付決定件数
症状性を含む器質性精神障害	F0	1,041
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	F1	643
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	F2	5,597
気分障害	F3	8,413
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	F4	1,933
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	F5	105
成人の人格及び行動の障害	F6	117
精神遅滞	F7	315
心理的発達の障害	F8	1,205
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	F9	644
特定不能の精神障害	F99	2
てんかん	G40	1,676
計		21,691

奈良県精神保健福祉センター所報（令和3年度）

令和5年3月発行

編集・発行 奈良県精神保健福祉センター
〒633-0062 奈良県桜井市粟殿1000

電話：0744-43-1474

FAX：0744-42-1603

Email：seishin-hw@office.pref.nara.lg.jp